

11月6日、最上校 1 年生が全国的に知られる最上町の再生可能エネルギーの先進的な取り組みについて学びました。

普段は見る機会の少ない木質チップの製造工場の現場や、それを熱エネルギーとして活用するウエルネスプラザのボイラー施設を見学しました。

木質チップを燃焼させて冷房に熱を転換する仕組みなどに、興味深く見入る様子が見られました。



この地で語り継がれた口承文芸を再び

「とんと昔この会」（代表 二戸 拓 氏）は、「令和 7 年度 最上町文化伝承活動支援事業」に採択された活動の一環として、故・佐藤義則著『羽前最上 小国郷のトント昔コ』（昭和 41 年）の復刻版を刊行し、町内の関係施設へ寄贈されました。

この書籍はかつて佐藤氏が生涯をかけて町に伝わる民話や昔話等をまとめたものですが、初版部数が少なく流通が限定的で、更紙の紙面劣化も進行しておりました。本活動を通してより多くの方々の目に触れていただき、郷土文化継承の一助になればとの願いのもとに復刻された貴重な資料として、本町の教育・文化活動の中で大切に活用させていただきます。



企業版ふるさと納税のご寄附をいただきました

企業版ふるさと納税は、地域振興を支援するための重要な仕組みであり、最上町の発展に向けた大きな力となっています。

この度、株式会社新庄砕石工業所様から、企業版ふるさと納税制度を活用し、100万円のご寄附を賜りました。

今回のご寄附は、「最上町まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に有効活用させていただきます。御社の温かいご支援に心より感謝申し上げますとともに、町の発展に向けて、さらに力を入れて取り組んでまいります。

10月23日に感謝の意を表し感謝状を贈呈いたしました。

写真右 同社執行役員 田中 秀明 氏



10月 最上町の人口 戸籍の窓口

※令和 7 年 10 月 31 日までの届出分まで

全人口 7,192人（うち、外国人121人）
男 3,525人（うち、外国人 12人）
女 3,667人（うち、外国人109人）

世帯総数 2,717世帯

生まれた人 0人
亡くなった人 9人
転入 7人（うち、外国人 0人）
転出 9人（うち、外国人 1人）
前月比 11人減



紅葉

葉の山を一步ずつ 町民登山で交流の輪



10月4日の鳥海山と10月18日の月山において、「町民登山」が開催されました。10月11日の月山は残念ながら雨天のため中止となりましたが、秋の澄んだ空気の中、鳥海山と月山の鮮やかな赤や黄色に色づいた美しい紅葉を眺めることができました。

また、登山中は東法田山愛好会のガイドにより、参加者の皆さんが安心して登山を楽しむことができました。今後も、健康増進を図りながら参加者同士の交流を深める取り組みを進めてまいります。

最上

上ふれあい学園が「鉄道の日」に 国土交通大臣表彰を受賞！

10月14日の「鉄道の日」に合わせて行われた表彰式において、最上ふれあい学園が長年にわたり行ってきた陸羽東線赤倉温泉駅の清掃活動が高く評価され、「国土交通大臣表彰（鉄道をめぐ一般協力者関係）」を受賞しました。

この栄えある表彰は、全国でわずか4名2団体のみが選ばれるもので、学園の日頃の取り組みが高く評価されました。同施設では、地域に親しまれる駅であり続けてほしいとの思いから、園生と職員が協力して駅構内やホーム周辺の清掃を続けています。この度の受賞大変おめでとうございます。



表彰式には最上ふれあい学園 理事園長 松井平喜 氏が参加。

最上

町民グラウンド・ゴルフ大会

10月15日、33名の参加者による「最上町長杯町民グラウンド・ゴルフ大会」が、もがみ西公園多目的グラウンドで開催されました。参加された皆さんは日頃の練習成果を存分に発揮し、青空の広がる秋晴れのもと、元気いっぱいに白熱した試合を繰り広げました。入賞された皆さま、誠におめでとうございます。（【写真は男子表彰式。左から男子優勝 尾形勝雄、2位 橋本征男、3位 大沼昭雄】【女子優勝 手塚由紀子、2位 横千代美、3位 須貝タダエ】、総合優勝 尾形勝雄



21

年続くまごころの支援 大場組様が教育育英資金に寄附

10月28日、株式会社大場組の大場宏利社長より、町の教育育英資金のために200万円が寄附されました。大場組様からのご寄附は平成17年から始まり、今年で21年目を迎えます。

これまで積み立てられた「大場育英基金」の総額は、合計で4,200万円となりました。この基金は青少年の修学貸付資金として活用されており、今年度までに延べ42名に貸し付けを行い、貸付金額の総額は5,700万円に達しています。

